



<http://www.shinshiyou.com>

〒221-0055 横浜市神奈川区大野町1-25 横浜ポートサイドプレイス509 アネックス5F
TEL. 045(440)3210 FAX. 045(440)3209

発行元／公益社団法人神奈川県私立幼稚園連合会

発行人／会長 木元 茂

編集人／神私幼総務部(広報委員会)

発行／年3回

発行部数／1700部

ご報告 能登半島地震 義援金について

神奈川県からも多数の園にご協力いただきました義援金について、全日本私立幼稚園連合会より報告がありました。令和6年6月6日に義援金のうち1,000万円を「石川県の園児・児童の教育・福祉向上のため」に贈呈、残りの義援金については被災された能登地域のご家庭や教職員の方々へのお見舞い、並びに石川県をはじめ今回の地震で被害に遭われた地域の、幼稚園・認定こども園へのお見舞いに充てられるとのことです。ご協力をありがとうございました。

令和6年度

幼稚園教育経営研修会のご案内

今年度の幼稚園教育経営研修会は全日本私立幼稚園連合会政策委員会委員長・石田明義先生（新潟県マハヤナ幼稚園）を講師にお迎えし『こども誰でも通園制度』について、後半は青山社中(株)執行役員・村上正史様を講師にお迎えして、Aiの活用について貴重なお話を伺う予定です。研修会後は意見交換会も予定しております。皆様のご参加をお待ちしております！

※賛助会員様も参加されます。

記

日時 令和7年2月1日(土) 13:30～17:00予定
★17:30～同会場で意見交換会を予定しています。

会場 ロイヤルホールヨコハマ

対象 加盟園 設置者・園長ならび後継者、またはこれに準ずる者

募集人数 100名

参加費 1名 10,000円(資料代、意見交換会参加費を含む)

詳細・お申込みは『ゆたかなまナビ』からお願いします。

主催／一般財団法人神奈川県私立学校教育振興会

実施／公益社団法人神奈川県私立幼稚園連合会



令和6年度 神奈川県連合会加盟園数・園児数

協会名	園数	園児数	前年度園児数	前年度比
公益社団法人横浜市幼稚園協会	245	32,707	35,315	－ 2,608
公益社団法人川崎市幼稚園協会	82	12,354	14,011	－ 1,657
横須賀市私立幼稚園・認定こども園協会	30	3,093	3,314	－ 221
特定非営利活動法人藤沢市私立幼稚園協会	29	4,388	4,685	－ 297
鎌倉私立幼稚園協会	19	2,074	2,249	－ 175
茅ヶ崎市私立幼稚園協会	14	2,302	2,427	－ 125
湘東地区私立幼稚園協会	39	5,114	5,527	－ 413
小田原私立幼稚園協会	12	1,148	1,171	－ 23
相和私立幼稚園協会	27	3,812	4,098	－ 286
一般社団法人相模原市幼稚園・認定こども園協会	44	6,227	6,713	－ 486
逗葉私立幼稚園協会	5	523	565	－ 42
厚木地区私立幼稚園協会	19	2,387	2,482	－ 95
計	565	76,129	82,557	－ 6,428

県連設立 1948年(昭和23年)

INDEX

2-3 研究研修部 活動報告 神奈川におけるECEQ®の推進

研修会報告

4 令和7年度予算要望 少子化を踏まえた要望

5 第37回 全日本私立幼稚園連合会 関東地区教員研修栃木大会
第39回 全日本私立幼稚園連合会 設置者・園長全国研修大会
第38回 全日本私立幼稚園連合会 関東地区代表者協議会山梨大会

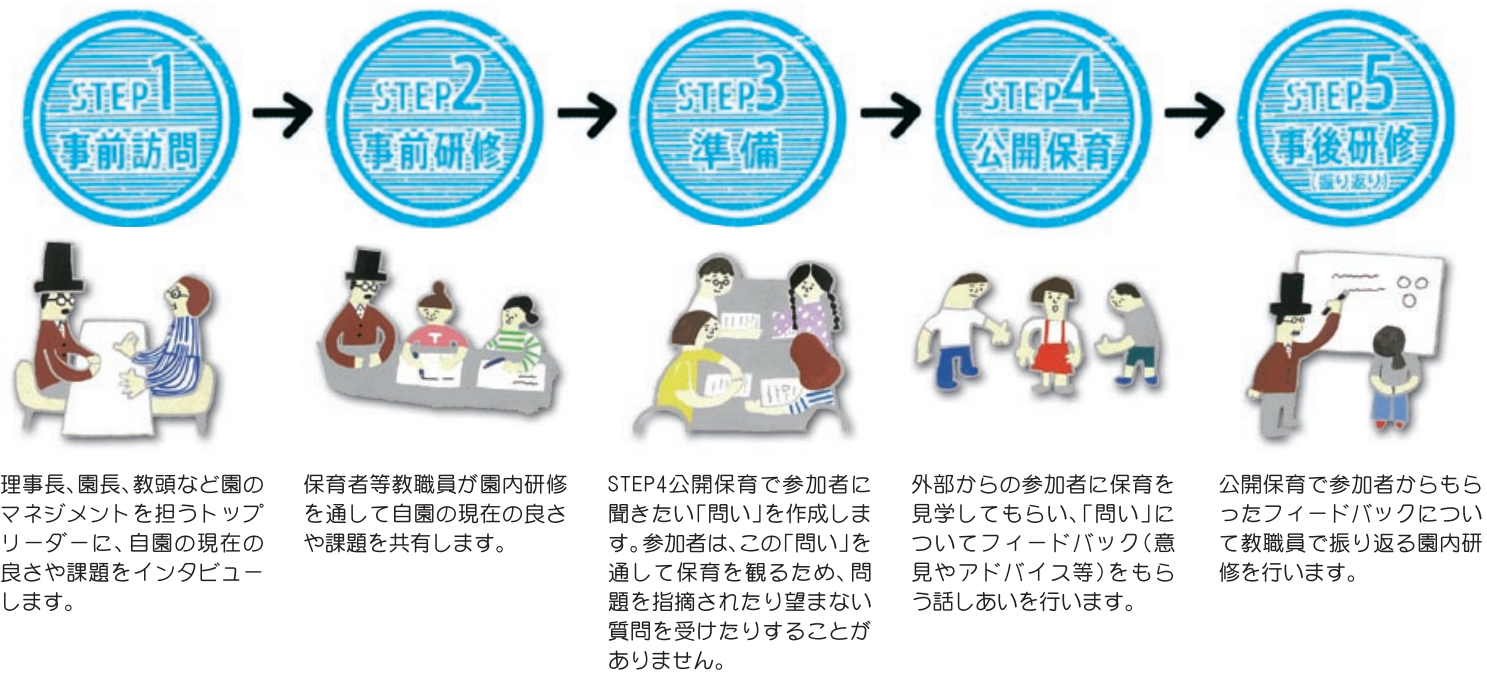
6 私立学校法改正対応について 手続きはお済みですか？お忘れのないように！

法律相談／教育相談

7 令和6年度 神奈川県私立幼稚園父母の会連合会 研修大会 僕が泳ぎ続ける理由 講師 入江陵介 氏

8 Pride of KANAGAWA／新規賛助会員／ ケンタガーデン®

これがECEQ®の5STEPプロセス



機構ECEQ®
(一財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構ECEQ®〈公開保育を活用した幼児教育の質向上システム〉についての詳細や説明動画はこちらからご覧になれます。

CEDEP & ECEQ®
CEDEP(東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター)のサイト。ECEQ®についての調査研究の報告書はこちらからご覧になれます。

研 修 会 報 告					
■ 研究研修部主催 ■ 振興部主催					
開催日	研 修 名	会 場	講 師	テ ー マ	参加者数
7/ 1(月)	リーダー育成塾	ようちえん会館	ECEQ®コーディネーター 櫻井 喜宣 先生	私学経営・保育の両面に精通した真のリーダー育成について考える	37名
7/ 2(火)	新規採用教員研修会 第2回	神奈川県民ホール 会議室	保育コミュニケーション協会代表、合同会社ウメハナチャイルドケアコミュニケーションズ代表 松原 美里 先生	いまの自分を抱きしめ、明日への一歩を見つける	91名
8/ 5(月)	新規採用教員研修会 第3回	鶴見大学 1号館	文京学院大学人間学部児童発達学科教授 朴 淳香 先生	発達を支える身体表現活動	120名
			筑波総合クリニック、筑波大学名誉教授 宮本 信也 先生	気になる子どもの理解と対応	
			社会福祉法人太陽あしたがすき保育園園長、中部大学非常勤講師 安井 素子 先生	どんな絵本が好きですか？	
			NPO法人保育の安全研究・教育センター代表理事 掛札 逸美 先生	安全のための園内コミュニケーション	
8/26(月)	幼稚園教諭向け小児食物アレルギー研修会	ようちえん会館	国立成育医療研究センター 総合アレルギー科診療部長 福家 辰樹 先生	小児食物アレルギーの基礎知識と緊急時対応を学ぶ	78名
9/ 3(火)	リーダー育成塾	ようちえん会館	工藤 勇一 先生	私学経営・保育の両面に精通した真のリーダー育成について考える	39名
9/30(月)	私立学校法改正への対応に向けた勉強会～「寄附行為」をつくってみました！～	ようちえん会館	パネリスト (公社)神奈川県私立幼稚園連合会 会長 木元 茂 先生 常務理事 鈴木 伸司 先生 振興部次長 樽木 陽子 先生	(1)寄附行為変更認可申請手続きについて (2)寄附行為作成にあたっての留意点について	100名
11/ 6(水)	リーダー育成塾	ようちえん会館	洗足こども短期大学教授 井上 眞理子 先生	保育の質向上と組織マネジメント～職員の多様性を尊重し学び合う組織をつくる～	39名
11/12(火) 11/13(水)	新規採用教員研修会 第4回	神奈川県立体育センター	東京女子体育大学講師 堀内 亮輔 先生	幼児の運動遊び	両日合わせて 94名
11/27(水)	多文化対応力向上研修	オンライン	公益財団法人かながわ国際交流財団 福田 久美子 先生	幼稚園での外国につながる園児・保護者受け入れについて	44名

研究研修部 活動報告

神奈川におけるECEQ®の推進

ECEQ®とは…「公開保育を活用した幼児教育の質向上システム」(Early Childhood Education Quality System)

少しずつ『ECEQ®』という言葉、文字に出会い、目にする、耳にする機会も増えてきたでしょうか。全日本私立幼稚園幼児教育研究機構（以降、研究機構）を中心に推進している事業ではありますが、神奈川県内においてははまだまだ「それ何?」「イー…、何?なんて読むの?」と広報、推進が必要であると感じる点もありますので、ECEQ®について簡単ではありますが、説明をさせていただきながら、なぜ今ECEQ®を推進していく必要があるのかを、研究機構、ECEQ®・評価チームの視点から綴らせていただきます。

ECEQ®とは、平成25年に研究機構が開発した公開保育と園内研修を活用した幼児教育の質向上システムです。『公開保育を活用する』とはどのような意義があるのでしょうか。保育という営みには、子ども一人ひとりがその人らしく生活を営むと共に、保育者の願いやねらいがあり、思いがあります。その願いや思いを形にした保育については、評価スケールをみのり(チェック)による改善は難しく、その改善に『語り(対話)』が必要であることに着目したシステムがECEQ®です。ECEQ®を実施する幼稚園等（以降、実施園）が普段通りの保育を公開し、参加者からフィードバックをもらい、実施園と参加者との対話を通して幼児教育の質向上につなげていくというプロセスが含まれていきます。

また、『やってよかった』の実りをより豊かなものにするために、参加者からもらうフィードバックの視点『問い(窓)』を掲げているのもECEQ®要素の1つです。そして、研究機構の養成講座を修了し認定を受けたECEQ®コーディネーターがナビゲーターを務め、公開保育を核とした5STEPプロセスを実施することも要素の1つとなります。

「ECEQ®を実施するためには5つもSTEPがあるの?」「ただ園を公開するだけではだめなの?」「そんなに時間も取れないし、負担も大きい。」とECEQ®を実施したことのある園や噂を聞きつけた園からご意見をいただくこともあります。正直に申し上げれば、負担が少ないとは言えませんし、それなりに時間も要します。

しかし、ECEQ®の大切な要素でもある5STEPを重ねることで、実施園の理事長、園長等のトップリーダーの想いを軸としながら、自園の良さと課題と出会い、公開保育を通して実施園の保育者等が現在向き合っている課題に参加者と共に向き合い、その課題を乗り越えていくためのフィードバックを得ることができます。そして、ECEQ®は公開保育を実施しておしまいいはしません。実施園

がECEQ®後に取り組みたい課題や目標を見出し、自園の質をその後も主体的に向上させていける道筋を見つける時間を最後のSTEP5として持ち、ECEQ®を締めくくります。要するに、ECEQ®を通して実施園が、自園の質向上のために、言葉遊びではありませんが、見直すという直す入り口ではなく、今よりもより良くという入り口をもった『問い』をその都度、自らの力とECEQ®を通して出会った方法を活用して導き出し、改善し、そしてまた新たな問いを持つという質向上のサイクルを作り出すことができるのです。

さらには、学校評価の文脈での学校関係者評価として、文部科学省にも認められ、公定価格の加算も得られる、日本で唯一の幼児教育の質の維持と向上を目指す取り組みでもあります。

今年度から研究機構の中でECEQ®を担う組織が、ECEQ®専門部会からECEQ®・評価チームと名称が変わりました。

自己評価、学校関係者評価、第三者評価。『評価』という言葉が乳幼児教育施設の運営と並走するように近づいてきています。日本国内では研究機構が開発したECEQ®だけでなく、海外で開発されたECERS、ITERS、CLASS、SSTEWなどのように国立教育政策研究所(国研)を中心に、日本独自の評価スケールの構築に動き出している現状もあります。

ただ、いくら素晴らしい評価スケールがあったとしても、『語り(対話)』と『主体的な質向上のサイクル』がなければ、その園の評価に、その園で暮らす人たちの命は吹き込まれません。

合言葉は…『やってよかった!ECEQ®!』です。文科省の委託研究として東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター(通称:CEDEP)と研究機構がECEQ®調査を共同で行い、驚異の99%のやってよかったの実績をもつシステムです。

ぜひ、ECEQ®の世界をのぞいて見ませんか?
(文責・研究研修部次長 櫻井喜宣)





が落ち着き癒しの効果もあったように思います。作品が焼き上がり手元に届くことを楽しみにしています。

2日間に渡るこの大会は開催県である栃木県連の先生方のお蔭で充実した楽しい研修会になったことをご報告申し上げます。

(文責・副会長 田中伸宣)

第37回全日本私立幼稚園連合会 関東地区教員研修栃木大会

8月8日・9日

益子の特別フォーラムに参加して

この大会は山梨、千葉、新潟、埼玉、茨城、栃木、群馬、神奈川県、の輪番で開催され、今年度は8月8日・9日、ライトキューブ宇都宮で開催されました。2日間わたる研修は1日目、開会式後『子ども・保育者・保護者がワクワクする保育』と題して玉川大学教育学部教授である大豆生田啓友先生の講演を拝聴しました。施設類型が複雑になったものの施設でも共通するテーマで、ワクワクしながらお話しに聞き入りました。その後、栃木を代表するお笑い芸人であるU字工事のライブを30分。時間の経つのを忘れるくらいに楽しませていただきました。

2日目は16のフォーラムから教養文化講座を選択。陶芸の里である益子町に向う道中で益子町についてのビデオ視聴からはじまり、最初の見学施設である濱田庄司記念益子参考館、次に益子陶芸美術館を学芸員のレクチャーを受けながら回り、益子の地域や焼き物の歴史等を学びました。

昼食後、3グループに分かれ窯元で陶芸電動ろくろ体験をしました。まずは先生のお手本を見せていただき、手順や注意点を教わりました。その後ろろろに引き合い、自分の作品を作ります。私はごはん茶碗と湯呑にチャレンジ。回る粘土の芯を捉える難しさや、遠心力もあり外に広がりがある粘土と格闘し何とか茶碗を成形し糸でろくろから切り離します。茶碗1個10分程度でしか、続いて2個目。湯呑の成形では手の大きさもあり、湯呑の内側を形作るのに苦労しました。ご飯茶碗2個、湯呑2個を1時間弱かけてろくろ体験をさせていただきました。作業中は自然と心が落ち着き癒しの効果もあったように思います。作品が焼き上がり手元に届くことを楽しみにしています。



第39回全日本私立幼稚園連合会 設置者・園長全国研修大会

10月28日・29日

奈良市で開催されたこの大会は、1日目は記念講演・行政報告、2日目は4つの研究講座(教育・振興・経営・認定こども園)に分かれての研修会がありました。私が参加したのは「振興」です。こども家庭庁の設置経緯と、待機児童調査、『こども誰でも通園制度』について説明がありました。少子化とともに共働き家庭が増えた事による乳幼児の生育環境の変化への対応を、幼稚園を含む乳幼児関連施設へ求められる内容でした。

○現状の子育て世帯の実態

待機児童は改善されたが、引き続き待機児童解消のための取り組みを進める。また孤立する子育て世帯が増えている。子どもを社会で育てる動きが加速し、自治体によっては第一子から保育料を無償化しているところもある。全日としては行き過ぎた親子分離への懸念がある。

○『こども誰でも通園制度』について

こども家庭庁が考えるメイインターゲット層は『0歳児』。育児休暇取得率が高がり、利用者が急減している0歳児が保育所で『こども誰でも通園制度』を利用するとその後もしつかり続ける事が予想され、幼稚園も積極的に乳幼児との関わりを模索する必要があるのではないかと考えさせられました。

こども家庭庁の説明では、この制度は保護者側の必要性に対応するものとなり、子どもを中心に考え、子どもの成長の観点からすべての子どもの育ちを応援し、良質な生育環境を整備することを目的としている。「預かる」というサービスではなく、保護者とともに子どもの育ちを支えていく為の制度。実際に目の前で育児方法の模範を見ることにより、成長を客観的に捉えられ、保護者自身が親として成長していくことにつながると考えている。

石田明義氏(全日政策委員会委員長)より『こども誰でも通園制度』とは・預かるというサービスでは無く、保護者とともに「子どもの育ち」を支えていくための制度

・地域に暮らすすべての子どもたちの「育ちの拠点」

・すべての子どもの育ちを応援し、子どもの良質な生育環境を整備するという視点

・支援が必要な家庭の把握につながるポピュレーションアプローチであると共に、ハイリスクアプローチも含まれるものである。

とまとめのお話がありました。



(文責・副会長 石渡宏之)

第38回全日本私立幼稚園連合会 関東地区代表者協議会山梨大会

11月7日・8日

これからの私立幼稚園の役割とは

山梨県笛吹市にて開催された標記協議会は全日関東地区会(8県)の団体代表者が、各地区の諸問題や振興策について各県行政担当者も交え協議し、幼稚園の経営健全化と教育の資質向上を目指すもので、毎年この時期に各地区輪番にて開催されています。

爽やかな晴天に恵まれた当日、会場には本県より12名を含めた総勢100名を超える関係者が集い、各研修に耳を傾けました。こども家庭庁成育局・野村宇宙(そら)係長による「こども家庭庁が目指す未来」や、山梨県立大学大学院・西澤哲特任教授による「なぜ、いま、山梨県立大学に大学院なのか」。また皆様ご存じの汐見稔幸先生は八ヶ岳山麓に位置するぐうたら村の村長としてお話し下さいました。

そして毎回興味深いのが、各県担当者による私学助成や各県単独補助についての発表ですが、新制度園への移行が進んだ昨今ですので、幼稚園側参加者による市町村単位での幼稚園/こども園事情についての情報交換会も同時に行われ、地域を越えた各課題の共通認識もできました。

因みに次年度開催県はご当地神奈川。例年の開催市である横浜を飛び越え、初めて横須賀にて開催します。全国的知名度の割りに訪問機会のない方も多い様です。この機会に是非、昭和の香りと異国情緒の溢れる港街に触れ、神奈川県、の魅力を体感頂ければと思います。



(文責・総務部長 鈴木豊司)

令和7年度予算要望

少子化を踏まえた要望

令和7年度入園者が生まれた年は、コロナ禍の2年目で、厚生労働省の令和3年人口動態統計月報年計(概数)の出生数は81万1604人で、前年より2万9231人減少しており、神奈川県人口動態調査では、令和2年出生数は6万865人で、前年比2,170人減少しています。現状を踏まえ、行政当局に地域の教育力向上に、幼稚園・こども園が不可欠な存在であることを訴えて参ります。

令和7年度予算要望を、7月10日自民党、7月12日かながわ未来、7月17日立憲民主党・かながわクラブ、7月24日公明党、7月25日日本維新の会、最後に8月7日福祉子どもみらい局へ行いました。

今回の要望は、ICT化等前年度達成出来た要望と調整を取りながら、特に重要な経常費補助単価増、在職年数加算、102条園(学校教育法附則6条)への運営費補助単価増及び処遇改善支給、特別支援教育費補助の規模別の撤廃、新設された満3歳児補助の要件緩和、物価高騰対策補助、単価増額、こども誰でも通園制度の施設整備、4・5歳児の配置改善加算、新規要望として処遇改善等加算Ⅱの認定に係る書式の統一を申し入れました。私学助成制度委員会では、標準的運営方式の教員給与計算内単価増、満3歳児補助単価増、他校種



にある補助で幼稚園・こども園に活用出来るものがないか、将来的に少子化での経常費単価等を話し合い、現在ある補助を一覧表にして申請、活用が分かりやすいようにしていきたいと話がありました。

また、活用が難しい緊急環境整備費は国の事業を代理事務で都道府県が行っており、申し入れをしても対応が難しいので、令和8年度の要望書の作成では工夫して記載をしたいと思います。

私立学校法改正により、大規模法人と同じ対応が必要になっている法人運営に関しても、幼稚園・こども園運営法人の現状を理解して頂き、規模・校種によって緩和してもらえる活動も必要ではと考えています。

衆議院議員選挙が10月に行われ、政治が不安定な状況になると予想されていますが、皆様方と幅広く連携し、幼稚園・こども園が教育力を発揮出来るよう、県内議員の方々にご理解、ご支援頂ける活動をして行きたいと思います。

(文責・振興部長 仁藤一成)

令和7年度の神奈川県予算に対する要望内容

1 経常費補助金(一般補助)の充実

◇令和6年度の園児一人当たりの補助額は、処遇改善加算分を含め前年度対比5,718円の増額で、他の都道府県に比べるとかなり低いことから、教育の質の向上、安定的な人材確保、教職員の処遇改善に向け、更なる単価の増額

◇在職年数の長い教員への加算の更なる拡充(6年以上)及び第一種教員免許有資格者への加算並びに退職後に再就職した教員の職歴を通算年数として認める加算要件の拡充

◇幼稚園教諭等の処遇改善の取組の継続と、幼稚園負担をゼロにするための取組

◇宗教法人立や個人立の園に対する運営費補助金

2 経常費補助金(特別補助)の充実

①特別支援教育費補助

◇在園児80人未満を対象としている対象児1名784,000円補助の人数制限の撤廃と幼保連携施設への補助

◇補助基準を見直し、『発達障害の疑い』の園児や『療育センターの判定書』等も可とする

◇年度途中で受け入れた支援児も対象となるよう、補助金申請書の提出期限の見直しや県単独補助

◇新制度2号こどもへの特別支援教育費補助

②預かり保育推進費

◇預かり保育実施園への人材確保や財政支援に係る補助金の更なる増額と預かり保育を利用するアレルギーや特別支援を必要とする子どもへの加算

③地域開放推進費

◇地域社会のコミュニティにおける子育て拠点となっている幼稚園への地域開放推進費の充実

④緊急環境整備費

◇学校法人立幼稚園への補助率(現在は3分の1)を認定こども園と同様の2分の1へ増額するとともに、速やかに告示し圧縮は行わない

◇園舎建物に付随するものや修繕にも利用できるよう事業内容を拡充・見直す

⑤満3歳児への特別補助

◇満3歳児受入れを実施している幼稚園への加算のさらなる充実や県単独補助

⑥物価高騰対策費

◇物価高騰対策費のさらなる充実

3 安全・安心な保育に向けて

①通園バスの置き去り防止装置付け替えへの補助【新規】

◇通園バス更新時の置き去り防止装置の付け替え費用への補助

②タブレット学習の推進に向けてICT化支援補助制度等の充実

◇ICT化支援補助金の継続活用とICTシステムの導入コンサルティングの実施

③園児の多国籍化への対応

◇園児の多国籍化に対応するための通訳の手配や通訳利用サービス経費への補助

④こども誰でも通園制度利用促進のための施設整備【新規】

◇令和8年度から本格施行されるこども誰でも通園制度への幼稚園の参入を促進するための施設整備や回収、備品購入等に対する補助

4 人材確保及び質の向上

①就職セミナー

◇県内各地域のニーズに対応した「就職セミナー」の開催などの人材確保支援策の継続・拡充

②処遇改善推進

◇保育所や新制度園と同様の就労支援補助金や家賃補助等の処遇改善の推進

③4・5歳児の配置改善加算【新規】

◇チーム保育加算がすでに適用されていても、要件を満たす場合は配置改善加算も適用する

④処遇改善等加算Ⅱの認定に係る書式の統一【新規】

◇市町村により異なっている処遇改善等加算Ⅱの認定に係る書式の統一及び(一財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構の研修受講履歴一覧の活用

⑤インターンシップ・教員実習生受け入れ事業

◇大学や養成校と連携したインターンシップ・教員実習生受け入れ園への補助

⑥求人对策への補助

5 オンデマンド研修教材作成等への支援

「不適切保育」や「バス置き去り事故」等の防止のため、研修時間に左右されずに視聴できる動画コンテンツの作成への助成

6 神奈川県私立幼稚園連合会への支援



令和6年度 神奈川県私立幼稚園父母の会連合会 研修大会

令和6年11月19日(火) 神奈川県立音楽堂

わ け 僕が泳ぎ続ける理由

講師 入江 陵 介 氏

イトマン東進所属、ロンドンオリンピックメダリスト、
日本記録保持者、元水泳日本代表選手

その後の講演会では、元水泳日本代表・日本記録保持者・ロンドンオリンピックメダリストの入江陵介さんにお話をいただきました。今回の講演会は入江さんと、父母の会連合会常任委員・葛西桃子、神奈川県私立幼稚園連合会・石井和則副会長の3名での鼎談方式でお話をさせていただきました。今年4月に現役引退をするまで、18年間の長い間日本代表として泳ぎ続けた入江さんか



ら、幼少期、全盛期、そしてこれからについてのお話を聞くことができました。第一線で活躍し続けた入江さんですが、水泳を始めたきっかけは「ご兄弟が通わ

また、三兄弟の末っ子として育ってきた入江さん。「第一子は丁寧な、第三子は甘やかされて育ちます。真ん中の子を氣にかけてあげてください。」と仰っていました。会場から

私立学校法改正対応について

手続きはお済みですか？お忘れのないように！

私立学校法改正を受け、私学振興課では令和6年2月に、当連合会では2月、6月、9月の3回、研修会と勉強会を開催しました。

2月、6月は同法改正に関わった公認会計士、弁護士の方を講師に迎え説明頂きました。その後、アンケート調査を実施し、会員園の皆様方の実務に関する勉強会を9月に行いました。

今後とも、皆様方に有意義な情報発信をして参りたいと思います。



令和6年6月27日(木)開催

【設置者・園長特別研修会】

テーマ 「私立学校法の改正への対応について」

講 師 大河原 遼平 氏 (TMI 総合法律事務所 パートナー弁護士)

令和6年2月3日に開催された、公認会計士協会神奈川県会長戸張実先生による「私立学校法の改正への対応について」の講演に続き、今回は改正私立学校法に直接関与された弁護士、大河原遼平先生を講師にお招きして、特別研修会を開催しました。

今回の私立学校法の改正のポイントは、私立学校の理事・理事会・監事及び評議員・評議員会それぞれの役割を明確にして、執行と監視・監督、そして建設的な相互の協働とけん制を目的

令和6年9月30日(月)開催

テーマ 『私立学校法改正への対応に向けた勉強会
～「寄附行為」をつくってみました！』

パネリスト (公社)神奈川県私立幼稚園連合会 会長 木元 茂 先生
常務理事 鈴木 伸司 先生
振興部長 樽木 陽子 先生

9月30日かながわようちえん会館において『私立学校法改正への対応に向けた勉強会～「寄附行為」をつくってみました！』が開催されました。

令和7年4月1日施行ということもあり、会場の大会議室は

にしています。幼稚園のみ設置している知事所轄の学校法人であっても、社会的に信頼を得られるガバナンスの強化が目的です。

私立学校法の改正に伴い、すべての学校法人が寄附行為の改正が必要になります。その中で、理事選任機関を寄附行為に明記することが義務化されます。理事選任機関の構成は、各学校法人に委ねられており、その構成によって寄附行為の内容も変わります。

改正私立学校法の施行は、令和7年4月1日になります。令和7年度の初日には、変更認可をされた、新しい寄附行為が必要です。私学振興課の確認事務もありますので、スケジュールを明確化し、寄附行為変更認可申請書提出を早めに行い、修正等への対応が必要であると考えます。

(文責・宮崎台幼稚園 中村達也)

満席となり、関心の高さがうかがえました。開式の辞に続き、当会木元茂会長の挨拶、本勉強会パネリストである樽木陽子振興部長、鈴木伸司常務理事(ガバナンス担当)が挨拶されました。

中でも鈴木常務理事は本勉強会に、ご自身の園用に作成し私学振興課と協議した寄附行為を事例に、各園が悩んでいる法人の規模の違いに言及した内容等について、根拠を示し加筆修正箇所の説明がありました。今回の改正により理事評議員の定数、理事選任機関の設置など、さすると法人の健全な運営を揺るがす可能性がある点をどの様に検討するべきか、は最終的には各園に委ねられるとはいえ、検討する角度をお話し戴き、参加者は自法人に照らしながらパネリストの話に耳を傾けていました。

(文責・女躰神社こども園 伊藤俊州)

法律相談

R&G横浜法律事務所

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい4丁目4番2号
横浜ブルーアベニュー2階

TEL.045-671-9654

県連窓口担当 西村 将樹 弁護士

私学法の改正について

既に研修会等も実施されていますが、私立学校法の一部が改正されることに関連した相談も出てくるようになりました。ここでは改正の内容について言及しませんが、公教育を支える私立学校において実効性のあるガバナンス改革を推進するための制度改正を目的としており、近年の流れに沿うものといえます。教育現場に限らずガバナンスの強化やコンプライアンスの徹底が求められており、レピュテーションリスクを強く感じている幼稚園もあると思いますが、ガバナンス等は手段として整理しそれ自体が目的とならないよう、まずは組織内の状況を正確に把握してその実情に合わせた制度の見直し等を進めていただくことが重要であり、運営上の過度な負担とならないようにしていただきたいと思います。

教育相談

相談の申し込み

電話・ホームページから事務局へ申し込みください。

TEL.045-440-3210
http://www.shinshiyou.com

教育相談員 鈴木 敦子 先生
(臨床発達心理士)

保護者様からのご相談をお待ちしております

秋になって相談件数が急増しました。どうやらチラシ効果のようです。先日開催された、元水泳日本代表、入江陵介さんの講演があった父母の会連合会の研修大会のお知らせの裏に教育相談のご案内を掲載し、お届けしたのです。これが潜在的に悩みを抱える親御さんに直接届いたようです。さて私に相談すると何がよいのでしょうか。まず、保護者にアプローチすることで養育態度に変化が生じ幼稚園での子ども同士のトラブルが減るかもしれません。さらに「うちの子」に関するあらゆる悩みを保育者に代わって引き受けます。少しでもお悩み解決のお力になれば幸いです(ご案内チラシは県連ホームページからダウンロードすることができます)。



©ビッグ錠

祝 Pride of KANAGAWA

令和6年度
神奈川県私立学校教育功労者表彰
令和6年11月15日に、神奈川県庁本庁舎「正庁」において表彰式が行われました。
心よりお祝い申し上げます。



瑞宝双光章
今年も嬉しいお知らせがありました。
心よりお祝い申し上げます。

学校法人八木学園 刈野辺ひばり幼稚園 理事長
学校法人山王学園 伊勢原山王幼稚園 理事長
学校法人清正学園 まきが原幼稚園 理事長・園長
学校法人大空学園 横浜さがみ幼稚園 理事長・園長

学校法人明和学園 綾西幼稚園 理事長・園長
古郡 孔文 先生

令和6年度
文部科学省教育者表彰
令和6年11月27日に、文部科学省講堂において表彰式が行われました。
心よりお祝い申し上げます。



神奈川県私立学校教育功労者表彰とは
私立学校教育の振興を図るため、知事所轄の私立学校の教職員、校長、園長、理事長及び設置者として、他の模範となる特に顕著な功績をあげた方に贈られます。

文部科学省教育者表彰とは
文部科学省で国公立学校(幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校)の校長、教員を対象に、学校教育の振興に関して特に顕著な功績のあった方を称える表彰です。

瑞宝双光章とは
国および地方公共団体の公務又は公共に対し、長年にわたり従事し功労を積み重ね、成績を挙げた方に贈られます。

心と知恵で、ここちよく

RAMICO

RAMICO JAPAN Co., Ltd.
ラミコジャパン株式会社

＊ウォータサーバーのレンタル ＊ビルメンテナンス
＊玄関マット・モップのレンタル ＊AEDのレンタル・販売

【ソリューション営業部】
〒111-0051 東京都台東区蔵前3-19-11 中越蔵前ビル
TEL 03(5821)5823

委託給食 公立学校給食・保育園・幼稚園給食 病院・高齢者福祉施設給食 等
仕出し弁当 幼稚園・保育園弁当／公立学校スクールランチ オフィス・工場弁当

飲料水 宅配
プロパンガス販売
給湯器設置・施工
キッチン・バス リフォーム
床暖房 / 床暖房の設置・施工

「本気」でいろいろやる会社 / 安田物産 YASUDA Co., Ltd.
〒242-0018 神奈川県大和市深見西2-6-28
TEL 046-261-9700
HP http://www.yasuda-bussan.co.jp

NEW 新規賛助会員

株式会社小学館集英社プロダクション
取扱：英語・幼児教育・絵画を中心とした、小学館グループならではの教育事業をお届けしています
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-20 SP神保町第2ビル2階 Tel. 0120-155-263

三陽自動車株式会社 神奈川事業所
取扱：サービス(幼稚園バス送迎・スポーツクラブ送迎・福祉施設送迎・貸切バスなど)
〒210-0002 川崎市川崎区榎町1-8-201 Tel. 044-874-6088

株式会社よみうりランド
取扱：総合レジャー事業(サービス業)
〒206-8725 東京都稲城市矢野口4015-1 Tel. 044-966-1123

株式会社日本トリム横浜営業所
取扱：電気機器
〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-4-1 日本生命新横浜ビル6階 Tel. 045-475-1650

有限会社プロケアー
取扱：クリーナーメーカー
〒220-0061 横浜西区久保町8-1-1F Tel. 045-315-5386

株式会社ヴィレッジ
取扱：携帯電話販売店／小売業
〒252-0313 相模原市南区松が枝町23-3 TERRA相模原304 Tel. 080-9053-5960

魅力ある園づくりのお手伝いをいたします。

小学館グループの園内教育サポートで3つのおすすめのプログラム

英語 国内 幼児教室 絵画

(株)小学館集英社プロダクション
TEL 0120-155-263
youho.support@shopro.co.jp

ぜひ導入をご検討ください 詳しくは

賛助会員を広く募集します 加盟園の皆様からのご紹介をお待ちしています。ぜひ県連事務局へご連絡下さい。